

お知らせ

令和4年度「公募型共同研究事業」の採択を決定しました

(公財)若狭湾エネルギー研究センターでは、大学・研究機関および実用化・事業化を目指す企業との共同研究を推進しています。

令和4年度は、4月18日～5月31日の公募期間に10件(実用化研究1件、産学連携研究2件、基礎研究7件)の研究提案があり、審査の結果、下記7件(実用化研究1件、産学連携研究2件、基礎研究4件)の研究提案について採択を決定いたしました。

記

【実用化研究】(1件) ※当法人の研究成果を実用化することを目指す企業を加えた共同研究

件名	研究概要	[提]提案機関
シリコン薄膜の光の干渉による発色方法の実用化	若狭湾エネルギー研究センターの技術シーズであるスパッタリングによりシリコンを金属表面に成膜させて光の干渉により発色させる方法を、量産装置多色展開することにより本格的実用化を目指す。	[提] 株式会社NCC

【産学連携研究】(2件) ※実用化を目指す企業を加えた共同研究 (順不同)

件名	研究概要	[提]提案機関 [企]参加企業
陽子線による頭頸部がん治療時に伴う口腔粘膜炎に対する防護剤の開発	陽子線がん治療に伴う口腔粘膜炎に対する防護剤としての実用化を目指し、候補薬剤の陽子線による抗腫瘍効果に対する影響および防護剤としての作用機序を明らかにする。	[提] 福井大学 [企] 丸石製薬株式会社
福井の酒蔵の要望に応じて育成した酒米新品種「山田錦FW1号」の実醸造による評価と普及	ブランド酒米品種「山田錦」を福井県で栽培しやすく改良した新品種「山田錦FW1号」を用いた日本酒の商品化、地域特性に適した更なる改良を目指した研究を行う。	[提] 福井県立大学 [企] 久保田酒造合資会社

【基礎研究】(4件) ※大学・研究機関との共同研究 (順不同)

件名	研究概要	[提]提案機関 [協]研究協力機関
イオン照射技術を用いた高温超伝導材料のナノ構造結晶欠陥の制御と臨界電流特性の増強	超伝導薄膜に低エネルギー(数 MeV 以下)でイオン照射し、照射欠陥を制御することで磁場中臨界電流特性を増強させると共に、次世代高温超伝導材料技術の確立を目指す。	[提] 関西学院大学 [協] 京都大学
子宮頸がんモデルマウスに対する粒子線治療の有効性と治療効果予測に関する基礎的検討	子宮頸がんモデルマウスを用いて、子宮頸部腺がんに対する粒子線治療の有効性を検討すると共に、患者さんのQOL向上に重要である治療効果予測がPETで可能あるかを検証する。	[提] 福井大学
ToF-ERD法を用いたリチウムイオン電池の電極/電解質界面におけるリチウムイオン移動のオペランド計測技術開発	ToF-ERD法を用いて、充放電時におけるリチウム電池内の電極/固体電解質界面のリチウムイオン移動量をその場で計測する手法を確立する。	[提] 名城大学 [協] 京都工芸繊維大学
加速器照射を利用した規則型Fe-Al合金中の空孔制御による多量水素貯蔵に関する研究	資源の豊富なFe-Al合金中の原子の穴への水素捕獲現象を利用し、粒子線照射による空間サイズ制御と水素の捕獲状態及びその挙動を調査し新たな水素貯蔵材料の可能性を探る。	[提] 大阪公立大学 [協] 京都大学 [協] 九州大学

【お問い合わせ先】
公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター
企画支援広報部 五十嵐
TEL 0770-24-7273